



ウルトラファインバブルの浴槽「アラエル」

介護人材の確保

厚生労働省は、2028年には介護人材が22.7万人不足すると予測しています。また、国内で確保できるのは4.5万人にとどまり、約18万人をICTや外国人材で補う必要があると試算しています。

介護現場の未来への挑戦

国人に頼らざるを得ないと見込んでいます。将来的に職員数が300名規模となることを想定し、約30名の外国人を維持する体制を整える必要があると考えています。

ICTの活用

ICTが進む現在でも、介護・福祉は究極のヒューマンサービスです。しかし、限られた人材でサービスの質を維持・向上させるためには、業務の効率化が必須です。介護職員の「手」を

利用者に向ける時間を増やすための改善を進めなければなりません。そして、介護ソフトの導入や見守りカメラの設置などのICT導入は、業務の効率化を図り、職員の負担軽減につながります。

祥雲館は、このような地域共生社会を深化するために、「ソーシャルワーク」というキーワードで、制度の狭間に埋もれてしまう地域課題に対し、解決に向けて中長期的に取り組んでいきます。

地域共生社会の深化

す。より少ない資源で効率よくサービスを提供するためには、職員同士が意見を出し合い、創り出す改善が求められています。

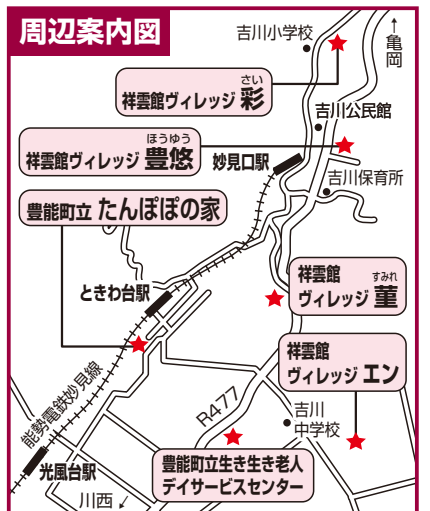
地域共生社会とは、地域住民や多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』繋がり、暮らしと生きがいを、地域とともに創っていく社会をいいます。例えば、「8050問題」への支援として、身寄りのない高齢者や権利擁護支援、引きこもり課題等、制度の狭間に落ち込む課題に対応することが求められます。

施設情報

名称：はつぞら
住所：大阪府豊能郡豊能町吉川215-1
連絡先：法人代表
☎072-733-2301
入所に関する問い合わせ：
障がい事業部（ひがし）
☎072-733-2305

豊能町吉川に、新たに「障がい者グループホーム（男性用）」を開設いたします。このグループホームは、自然豊かで穏やかな環境に位置し、入居者様がゆったりと過ごせる場所となっております。当ホームは、ユニット4名、計2ユニットの8名定員で運営いたします。入居者様には、鍵付き個室、無料WiFi、冷暖房を完備し、快適な生活環境を整えています。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新規事業のお知らせ 障がい者グループホーム「はつぞら」開設



祥雲館 町おこしプラザ 森のフェスティバル2024 ~OTOWARA♪~

今年も夏イベントの開催が決定しました！今年のテーマは「OTOWARA♪ー音笑ー」。音楽と笑顔があふれるイベントをお届けします。音楽に心躍らせ、キッチンカーやマルシェの美味しい香りに胸を弾ませ、アクティビティで爽快なひとときを楽しむ、五感で感じる夏を皆さんと一緒に過ごしたいと思います。恒例の「水ふうせんDEバトル」は、イベント開催中、何度でも楽しめるよう特設会場を設置予定です。

【日時】令和6年9月8日(日) 10時～15時
【場所】祥雲館ヴィレッジ・豊悠（豊能町吉川187-1）
【内容】音楽パフォーマンス・マルシェ・ボードゲームスタジオ・水ふうせん 他
【申込】事前申し込み不要（体験内容により事前申込が必要な場合もあります）
詳細はSNS等にてお知らせします。

主催：社会福祉法人豊悠福祉会祥雲館町おこしプラザ
お問合せ：豊悠福祉会 072-733-2301（代表）



笑雲 Café 第53回 見つけよう！豊能町だからできること

今回は、豊能町の「オンリーワン」を皆さんと一緒に探してみしましょう。今年5月に豊能町西地区で開催された「花さんぽ」の活動や、里山保全に尽力されている観光協会の取り組み、トヨノノPORTALでのSNS発信など、地域を盛り上げるさまざまな活動があります。これらの活動をヒントに、豊能町が誇るものを皆さんと共に発見しませんか。



【日時】令和6年7月27日(土) 13時30分～15時30分
【場所】あじさいデイルーム（祥雲館ヴィレッジ・彩 吉川36-1）
送迎あり（希望される場合は申込時にお伝えください）
【定員】20名（要予約）【参加費】200円（お茶菓子付き）

お申込み：祥雲館 ☎072-733-2301（7月15日まで）
※お車で越しの場合、申し込み時にお伝えください。

お知らせ

【地域交流スペース En-GAWA】

毎週水・木・金 10時～12時開放
・毎週木曜日は「体操の日」(10時30分～)
・第2木曜日は「まちの保健室」(11時～12時)



【第53回笑雲café】

日時：7月27日(土) 13時30分～15時30分

【森のフェスティバル2024】

日時：9月8日(日) 10時～15時 詳細は表面をご覧ください。

【走るデパ地下 阪急のスイーツ移動販売】

日時：7月10日(水) 14時30分～15時30分
場所：地域交流スペース En-GAWA (東ときわ台6-12-8)
デパ地下スイーツのお買物をお楽しみいただけます。

TOPICS

★「介護技術研修」

今回は外国人職員と新人職員を対象に、「楽わぞ介護」の研修を行いました。実技を交えて移乗のコツを学ぶことができ、とても充実した研修となりました。



★「花さんぽ 寄り道企画 in En-GAWA-」

地域住民対象に、福祉用具リゾムウェル主催で、電動カート試乗や福祉用具の展示、相談会を行いました。たくさんの方に電動カートを体験していただき、身近に感じていただけたかと思います。



★「職員懇親会」

祥雲館親睦会主催で「春の懇親会」を開催しました。懇親会は、職員同士が交流する貴重な機会となっています。



★「祥雲館ソフトボール部『デimos』」

大阪民会共済会主催のソフトボール大会に参加しました。結果は1勝1敗。頑張りました！



★「まちラボTOYONO アイデアソンプロジェクト」

大学生の視点で地域課題を解決するプロジェクトより取材していただきました。



★「とよのパビリオン出演」

「とよのパビリオン」イベントの一環で『万博の記憶』という動作制作のための取材がありました。取材を受けたやわみどり入居者さんは1970年の大阪万博当時、印象に残った出来事など思い浮かべながら話されていました。

TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

イベントや日常の様子は公式SNSで随時配信しています。

Twitter

@jinseinogakkou



Instagram

hoyufukushikai



Facebook

hoyufukushikai



YouTube 「ろんじえびTV」 絶賛配信中！



次号は、令和6年9月25日～30日配布予定です。

AIプロジェクト始動

普通の殻を破り
10年後の最高を目指す

昨年11月に実施した「アブリシエティブ・インクワイアリー(AI)研修」から生まれたプロジェクトが進行中です。

今年度は、「働きやすい環境」「本来の自分を見つめなおす機会の提供」「お互いの助け合いとサポート体制」の3つに重点を置いたプロジェクトを推進しています。これらのプロジェクトはそれぞれのチームで活動しますが、目指す方向

は同じです。それは、あたりまえという概念にとらわれず、地域との関わりを継続し発展させる未来を創ることを、ポジティブな思考で挑戦していくことです。10年後に最高の状態を実現するための第一歩として、まずは行動を起こしていきます。

*各プロジェクトの進捗状況は、広報誌「笑雲」で連載していく予定です。どうぞ期待ください。



外国人スタッフが安心して学べる日本語教室

祥雲館では外国人スタッフ向けに、日本語教室を実施しています。講師は豊能町在住「とよのほんご」白瀧慎里子さんです。白瀧さんは、豊能町が国籍を超えて、誰もが安心して快適に生活できる町になるように活動しています。白瀧さんの授業は日本語だけでなく、日本の文化や習慣、日常生活に必要な知識も教えています。授業は常に和やかな雰囲気、談笑したり歌をうたったりする時間もあり、リラックスして学べる工夫がされています。



福祉分野における人材不足の中で、外国人スタッフの雇用はますます重要性を増しています。そのような状況下で、白瀧さんのような存在が、外国人の生活をサポートする上で不可欠であると感じます。

編集後記

自分に投資をしていますか？ 日々の生活の中で、趣味や嗜好品など、なんらか自分へ投資をしていると思います。また、地域コミュニティや市民講座に参加することも、お金をかけずしてできる投資だと思います。面倒だと思いかもしれませんが、一歩踏み出すと、人との出会いが広がり、きっと自分の財産として返ってくると思います。時間への投資はコスパのいい投資ではないでしょうか。

広報担当 滝本